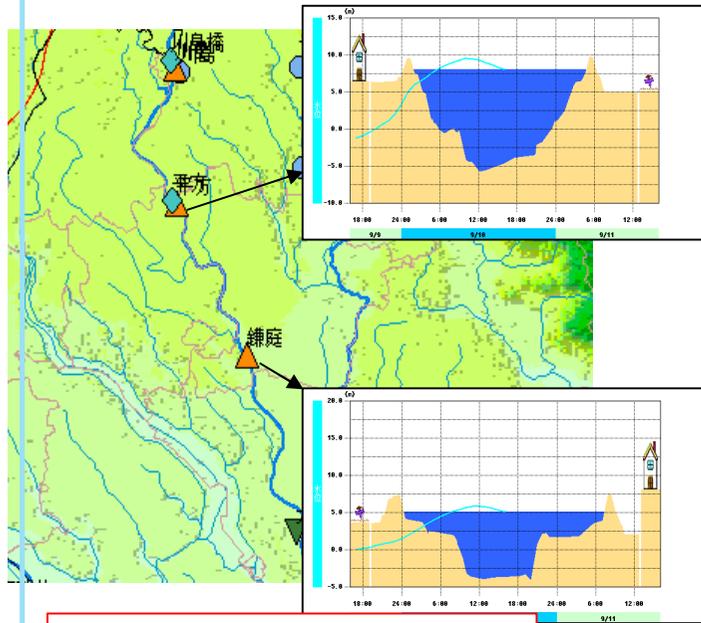


- 国土交通省では、上流から下流まで連続して洪水危険度を把握することが可能な技術によって、水位の実況値や予測値をわかりやすく情報提供する『水害リスクライン』を開発
- 『水害リスクライン』により、荒川(東京都など)、山国川(大分県など)及び川内川(鹿児島県など)において関係市町村への水位情報提供を試行(7月下旬～) ⇒ 今後、全ての一級水系(109水系)に拡大予定

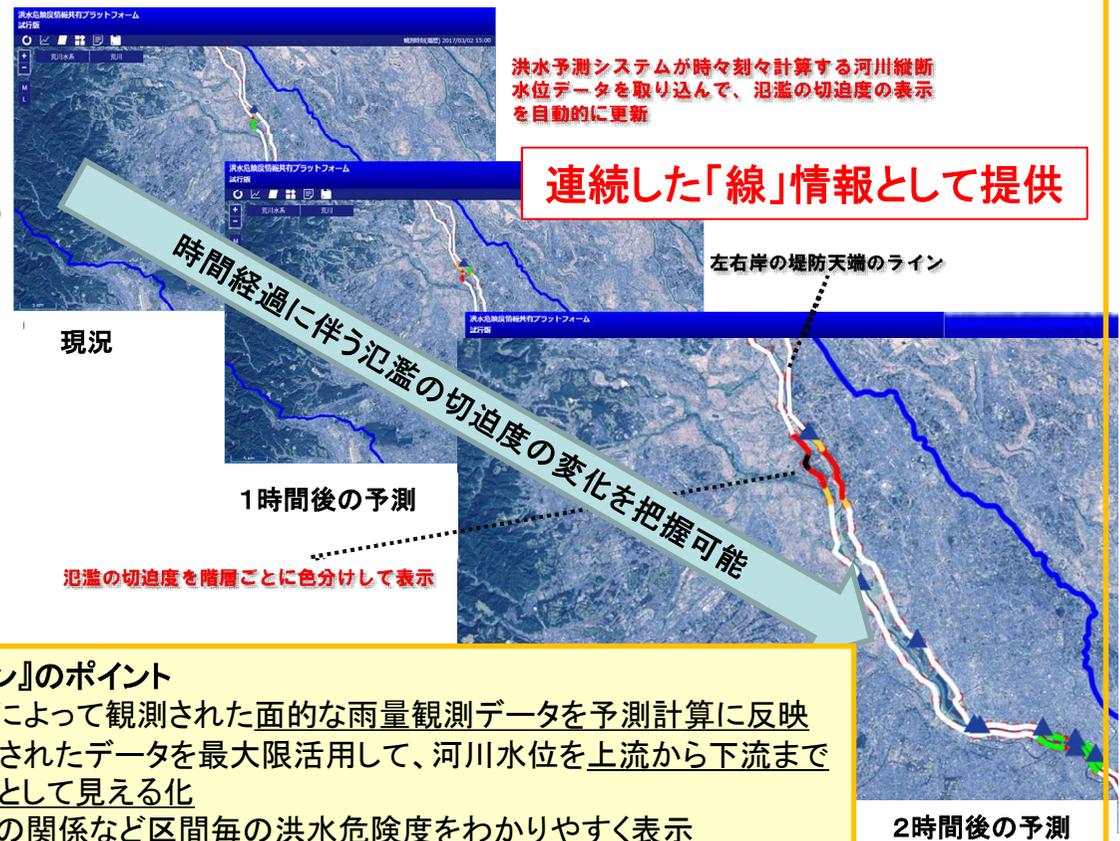
水位計地点の水位情報を提供



水位計地点の「点」情報

『水害リスクライン』

河川水位を見える化し、わかりやすく、きめ細かい情報を提供



『水害リスクライン』のポイント

- レーダ雨量計によって観測された面的な雨量観測データを予測計算に反映
- 水位計で計測されたデータを最大限活用して、河川水位を上流から下流まで連続した情報として見える化
- 水位と堤防高の関係など区間毎の洪水危険度をわかりやすく表示